

製品名: MUC5B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14236**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	633kDa

抗原情報

遺伝子名	MUC5B
別名	MUC5
遺伝子 ID	727897.0
SwissProt ID	Q9HC84
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 1810-1890

背景

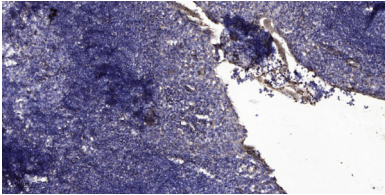
この遺伝子は、粘液分泌物の高度にグリコシル化された高分子成分であるムチンファミリータンパク質のメンバーをコードします。このファミリーメンバーは、粘液中の主要なゲル形成ムチンです。唾液全体、正常な肺粘液、および頸管粘液の潤滑性と粘弾性に大

きく寄与しています。この遺伝子は、慢性副鼻腔炎（CRS）の副鼻腔粘膜、鼻ポリープを伴う CRS、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、および H. pylori 関連胃疾患など、いくつかのヒト疾患において発現が亢進していることが明らかになっており、これらの疾患の病態形成に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2010 年 7 月],ドメイン: Cys リッチサブドメインリピート中のシステイン残基はジスルフィド結合に関与しない。機能: 唾液全体と頸管粘液の潤滑性と粘弾性に寄与すると考えられるゲル形成ムチン。誘導: 細胞型特異的な方法でオールトランスレチノイン酸によって制御される。PTM: 高度にグリコシル化されている。C-、N-、および O-グリコシル化されている。Cys リッチサブドメインでは、おそらく WXXW モチーフの最初の Trp 残基上で C-マンノシル化されている。Ser/Thr リッチタンデムリピート (TR) 領域では高度に O-グリコシル化されている。反復領域は約 59%が O-グリコシル化されており、NeuAc(2)Hex(1)HexNac1-ol が豊富に含まれています。類似性: CTCK (C 末端シスチンノット様) ドメインを 1 つ含みます。類似性: TIL (トリプシンインヒビター様) ドメインを 1 つ含みます。類似性: VWFC ドメインを 3 つ含みます。類似性: VWFD ドメインを 4 つ含みます。組織特異性: 気道上皮表面に発現します。主に気道組織の粘膜下腺の粘液細胞に発現します。舌下腺で高発現します。また、顎下腺、子宮頸管、胆嚢、膵臓にも見られます。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。